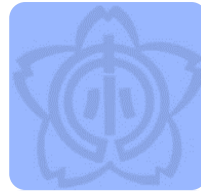




すぎなっ子



令和 4年度12号
3月14日(火) 発行
文責 中野島小学校長

本年度も残すところあとわずかとなりました。6年生の皆さんは卒業式を目前に控え、名残惜しさもひとしおであると思いますが、本校で学び成長したことを誇りとして中学へ進学してほしいと思います。

また、在校生の皆さんは、6年生からの伝統を引き継ぎ、新年度に向けた「心がけ」を自覚して取り組んでほしいと思います。

今月の言葉 「挑戦」

早いもので新年がスタートし約2ヶ月が過ぎました。1月に各学級で各自の「新年の目標」を立てた時、6年生の中で「何事にも挑戦する」という目標を立てていた人が複数見られたので、2月末の朝会では「挑戦」についてお話ししました。

挑戦は、自分から前向きに新しいことを学んだり、経験したことがないことに取り組んだりすることです。しかし、挑戦には失敗がつきもので、人によっては、新しいことに対してめんどくさがり、失敗を恐れて避けたりすることもあります。失敗を恐れる理由は、恥ずかしい思いをすることや辛い思いをすることを避けたいなど、誰もが持っている気持ちでもあります。

そこで失敗に対する考え方について、野球のイチロー選手がメジャー3000本安打記録の偉業を達成した時のインタビューを例にあげました。「3000本のヒットの裏には、約7000本の失敗がある。どうしたら野球がもっと上手になれるかを考え、いろんなことを試し、失敗を受け止めて、前向きに取り組んできた。これらの経験が自分を成長させ、今につながっている。」と語っていたことを伝えました。「挑戦しなければ失敗はありませんが、成長することはありません。失敗は成功に向けた一歩であって通過点でもあります。マイナスの気持ちや考えにとらわれるのではなく、自分を成長させることに考えを向けて挑戦してほしいと思います。また、挑戦している人を応援できる仲間やクラスであってほしいと思います。」と伝えました。来年度、児童一人一人がさらなる成長へと向かえるよう、ともに応援して参りましょう。

◇6年生を送る会 3月3日(金)



お世話になった6年生のために、5年生が中心となり各学年が楽しいゲームや歌を準備してきました。当日、ゲームや合唱等では、笑顔いっぱい楽しい一時を過ごすことが出来ました。また、会の最後には、在校生と6年生がそれぞれの思いを伝え合い、心のバトンタッチができました。

5年生にとっては、はじめての運営で大変だったと思いますが、素晴らしい成功体験になりました。

◇4月の行事予定◇

- | | |
|---|-----------------------|
| 4月10日(月) 始業式 | 4月22日(土) 授業参観 |
| 4月11日(火) 入学式 | 4月24日(月) 振替休日 |
| 4月13日(木) 身体計測 | 4月25日(火)～5月1日(月) 家庭訪問 |
| 4月18日(火) 全国学力学習状況調査(6年), ステップアップテスト(4・5年) | |

6年生を送る会を終えての感想

- 1年：プレゼントを渡すときが心に残りました。6年生のみなさんはもう行っちゃうんだなと思いました。私たちがあげたかんむりも大事にしてくれると思います。喜んでくれたのがうれしかったです。
- 2年：6年生を送る会はすごく緊張しました。風船リレーは難しかったけど、すごく楽しかったです。首飾りをプレゼントしました。6年生が嬉しそうだったので、安心しました。大成功でした。
- 3年：プレゼントのしっぽをあげる時、「すごいね」と言ってくれて嬉しかったです。しっぽ取りゲームでは、一個もとれなかったけど楽しかったです。5年生のゲームで5年生が6年生を毛布に乗せて引っぱっているのがすごかった。
- 4年：5年生がテキパキと素早くできていてすごいなと思いました。次に5年生になるので、こんなふうになりたいです。6年生がいなくなると寂しくなるけど、最後に関わりができてよかったです。
- 5年：6年生に「楽しかった！」と言ってもらえるよう頑張った。自分の役割もしっかりできた。魔法のじゅうたんでは、6年生とふれあえてよかった。「水平線」の歌が心に残ってる。今の6年生のような心優しい6年生になりたいと思った。
- 6年：私はもうすぐ卒業ですが、1～5年生の皆さんといろいろな遊びができて、とてもいい機会でした。プレゼントをくださったたり、計画を立てて進めてくださったたりと、とても感謝しています。いい思い出になりました。本当にありがとうございました。中学校に行っても忘れません。

音楽クラブの発表



音楽クラブが昼休みにミニ演奏会をしました。初めてのことで緊張した様子でしたが、一番いい演奏となり、観客の児童・先生から大きな拍手をもらいました。バッチリでした。☺(*^o^*)

☆夢をかまえよう☆

四国の地方出身で、世界で活躍している方はたくさんいらっしゃいます。スポーツ界では、ゴルフマスターズで優勝したの松山英樹選手やサッカーワールドカップで活躍した長友佑都選手がいます。

最近でも活躍し続けている方々の共通していることとして、大きな志を持ち、ポジティブに考え、誰にも負けない努力を続け、長期にわたって活躍できる目標や素地をつくっている点があげられます。

学生時代の長友選手は、特に恵まれた能力や顕著な実績もありませんでしたが、物事をプラスに考え「自分がどうなりたいか」という将来の目標を明確にし、目標から逆算し、自分が成長するための工夫と努力を継続することで、マイナス要因を自分の強みに変え、日本代表として長く活躍できる選手となったと語っていました。長友選手は次の4つを心がけているようです。「①目標を持つこと。②未来の自分から今を眺めることで、今やることを考えて実行すること。③苦難困難な状況にも感謝の気持ちを持ち、気持ちを切りかえてプラス思考をすること。④誰かのために懸命に取り組むこと。」を継続することで強くしなやかなメンタルへと成長したようです。継続することの重要性と難しさも語っていました。

上記の「考え方の力」や「心構え」については、公立学校の教科書で特別に習うことはありませんが、欧米では、半世紀以上前からニーズは高く、ポピュラーな学問として普及し成果を上げています。

考え方や受け止め方が個人の人生や会社組織・国の将来に大きく影響します。目の前に現れる出来事や環境の変化に対して、自分がどのように受け止め考えるか、行動するかは、本人の自由意志に任されています。前向きで積極的な思考を実践することが、よりよい未来へつながります。